

<2014年度国際文化学部「FIC オープンセミナー」>

飯田・下伊那の「ふるさと大使」と語るS J国内研修

法政大学国際文化学部では、2012年度から長野県の飯田・下伊那地方で、「スタディ・ジャパン（S J）国内研修」を実施している。

これは、留学生に東京以外の視点から日本を眺める目を養ってもらうとともに、研修を通じて、留学生と一般学生が共同で課題解決に当たる目的で、夏休み中の8日間を使って行なっている。すでに本研修を2回、2010年度からの短縮版プレ研修を含めると計4回の研修を経た現在、研修に込めた意図や目的がどの程度達成されているか、検証の時期に差しかかっている。

ところで、日本の他地区と同様、飯田・下伊那にも、「ふるさと大使」に任命された大都会在住の地元出身者が、出身地の観光・産業・文化の宣伝や、出身地と都会のヒトやモノをつなぐ役割を担う制度がある。

そこで今回、東京近辺に住む飯田・下伊那の「ふるさと大使」の方々を3名お招きし、その前でこれまでのS J国内研修や事前学習、さらにはこの秋に出かける第3回研修の予定などについて発表することで、検証作業を実施することにした。「ふるさと大使」からのコメントやアドバイスは、S J国内研修のこれまでの蓄積を振り返り、さらなる改善を加えていくに際して、貴重な一歩となるであろう。

同時に、「ふるさと大使」の間で座談会を行ない、日頃の活動やその成果・課題等についても語っていただく。

総じて、会場にご参加の方々も含めて、このS J国内研修の質の一層の向上に向けて、有意義な意見・情報交換や交流の場となることを期待したい。



飯田・下伊那の「ふるさと大使」各位

●日時：2014年7月5日（土）15:00～18:15

●会場：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー6階 BT0610

●内容：

<第1部> S J国内研修および事前学習の成果発表と講評 15:00～16:20

- ・事前学習授業の内容と成果
- ・留学生によるS J国内研修の報告と映像上映
- ・今秋の第3回S J国内研修の予定
- ・「飯田・下伊那文庫」データベース化作業について
- ・「ふるさと大使」3名からの講評

<第2部> 「ふるさと大使」による座談会 16:30～18:15

- ・3市町村紹介のDVD上映
- ・座談会：参加者＝長沼節夫（飯田市）／佐々木武彦（松川町）／矢澤西二（阿智村）＊敬称略
①自己紹介と映像のコメント、②「ふるさと大使」の活動内容、③わがまちの直面する課題、ほか
- ・会場との質疑応答

* どなたでもご参加できます（無料）。事前申込みは不要です。

国際文化学部（学部事務：03-3264-9345、jkokusai@hosei.ac.jp）